

## 校長挨拶

「人と人の間に垣根のない、笑顔あふれる学校に」

令和8年度の羽島特別支援学校は、新たに小学部17人、中学部21人、高等部32人、合わせて70人の新入生を迎え、小学部90人、中学部63人、高等部95人、合わせて全校児童生徒248人でスタートしました。昨年度の4月より児童生徒数が29人増え、県内屈指のマンモス校となっています。

さて、当校は開校から11年目を迎えました。これから、竹鼻別院の藤、地域の畑には蓮、学校にはハナミズキの花が咲き、木々も萌黄色の若葉が春空に鮮やかに映え、学校は、児童生徒たちと教職員のにぎやかな声や楽しそうな笑顔、笑い声があふれ、活気づいていきます。当校の教育は、学校内外の行事や地域とのつながりを活発に行い、児童生徒が地域の中で体験的な活動を通して学ぶことを中心に据え、笑顔あふれる1年間にしたいと考えます。

始業式で、私は今年もこう話しました。『友だちや仲間と仲良く学校生活を送ることができるよう、3つ頑張ることを言います。1つ目は、自分から挨拶をしましょう。相手より自分から、相手に気持ちよく、相手に聞こえるように、「笑顔で、おはよう」「心から、ありがとう」「素直に、ごめんなさい」が言える人になりましょう。2つ目は、いいことを見つけましょう。1日にたくさん「楽しい、よかった、面白い、いいね」を見つけましょう。そして、友だちや仲間のいいことは、相手に「それいいよ」と教えられる人になりましょう。3つ目は、気持ちを伝えましょう。「楽しい、うれしい、気持ちいい、面白い、やめて、いやだ、助けて」など、自分の気持ちを友達や仲間、先生やお父さんお母さんに話せる人になりましょう。高等部の皆さんには2つ追加です。4つ目は、人のチャレンジを誉め、ミスや失敗を許しましょう。何かにチャレンジすることは大変勇気がいります。人が勇気を出して一歩踏み出したことを誉められる人、そして人がミスや失敗をしても許せる人になりましょう。5つ目は、将来に希望を持ち続け、夢を見続けましょう。何かを成し遂げるには大きなエネルギーが必要です。そのエネルギーとは、皆さんの心の中にある夢や希望なのですから、それを持ち続け、見続ける人になりましょう。これらのことは、社会人になってからも大切な魔法の行動です』と。

これは、教職員、保護者や地域の皆様、私たち大人にとっても同じことです。今年度も、学校に笑顔があふれ、人間関係に垣根ではなく花が咲くことを願って、私たち羽島特別支援学校の教職員は、熱意と情熱をもって指導に努めてまいります。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和8年4月吉日

岐阜県立羽島特別支援学校  
校長 廣瀬 雅行